

令和5年度福岡県立高等学校入学者選抜学力検査結果の概要について

国語

言葉に関心を持ち、様々な情報から内容を正確に理解するとともに、言語活動を通して、根拠を明確にして自分の考えを適切に表現する学習をしましょう。

問題内容・得点状況等

一（１） 説明的な文章の問題

本文は、時間をかけて相手と直接のコミュニケーションを図り、信頼関係をつくることが大切だと述べた文章です。説明的な文章の内容や要旨を的確に捉えているかをみる問題となっています。得点率は46.0%でした。

問一は、空欄に語句を入れてことわざを完成させる問題です。理解したり表現したりするために必要な語句の量を増やし、話や文章の中で使うことが大切です。

問二は、文章中における語句の文脈上の意味を説明する問題です。文章の中心的な部分と付加的な部分を読み分け、要約したり要旨を捉えたりすることが大切です。

問三は、書き手の述べている内容を正しく読み取り、指定された語句を用いて分かりやすくまとめる問題です。複数の情報を整理しながら適切な情報を得ることが大切です。

問四は、文章中における例示の説明として、正しいものを選ぶ問題です。文章に表れている書き手の主張と例示の関係を捉えることが大切です。

問五は、書き手の主張を正しく読み取り、指定された字数で分かりやすくまとめる問題です。文章の種類を踏まえて論理の展開の仕方を捉えることが大切です。

説明的な文章では、文章に表れている書き手のものの見方や考え方や、その根拠となる部分について、文章の中心的な部分と付加的な部分、語句の意味や論理の展開などを考えながら読む学習が大切です。

一（２） 主に語句・語彙や書写に関する問題

（１）の文章を読んで、興味をもった作品について読書活動を通して、語句・語彙や書写に関する知識を問う問題です。得点率は54.7%でした。

問一は、抽象的な表現を具体化した一文を抜き出す問題です。文章の内容を捉え、抽象的な概念と具体例について把握することが大切です。

問二は、連文節における文の働きが同じものを選ぶ問題です。文の成分の順序や照応といった文の構成について理解することが大切です。

問三は、熟語が同じものを選ぶ問題です。漢字や語句について正しく理解することが大切です。

問四は、同音異字の中から、同じ漢字を当てるものを選ぶ問題です。漢字を正しく理解することが大切です。

問五は、漢字の行書とそれに調和した仮名の書き方や、文字の大きさ、配列などについて正しいものを選ぶ問題です。

語句の量を増やし、語彙を豊かにするためには、日頃から読書に親しむとともに、国語辞典や漢和辞典などを活用して、語句の意味や使い方などを確認する学習が大切です。また、楷書とともに行書の基礎的な書き方や、行書と仮名の調和について正確に理解する学習も大切です。

二 文学的な文章の問題

本文は、仏像修復師である主人公の葛藤が描かれている文章です。文学的な文章における場面の展開、情景や人物の描写から、思考力、想像力、表現力をみる問題となっています。得点率は31.4%でした。

問一は、指示された漢字と同じ意味の別の漢字を答える問題です。事象や行為などを表す多様な語句について理解することが大切です。

問二は、指示語の指し示すものを文章中から抜き出す問題です。場面の展開や登場人物などの描写に注意して読むことが大切です。

問三は、登場人物の行動を読み取る手掛かりとなる文章中の表現について、抜き出したがり分かりやすくまとめたりする問題です。場面と場面、場面と描写などを結び付け、登場人物の言動の意味を考えることが大切です。

問四は、語句の意味を理解し、文脈に即して具体的に説明する問題です。文章全体と部分との関係に注意しながら、登場人物の設定の仕方などを捉えることが大切です。

問五は、登場人物の気持ちを読み取り、分かりやすくまとめる問題です。文章の種類を踏まえて、物語の展開の仕方などを捉えることが大切です。

文学的な文章では、場面の展開、登場人物の行動や心情、情景描写、場面や登場人物の設定の仕方などに注意して読むとともに、表現の仕方や文章に表れているものの見方や考え方について、文章中の叙述を根拠にして自分の考えをもち、表現する学習が大切です。

三 古典の問題

本文は、『莊子』（『新釈漢文大系 第8巻 莊子（下）』所収）からの出題です。現代語訳を手掛かりとして古典に親しみ、内容を理解する問題です。得点率は51.9%でした。

問一は、歴史的仮名遣いを現代仮名遣いに直す問題です。文語のきまりを知り、実際に声に出して音読することが大切です。

問二は、登場人物の会話の部分を抜き出す問題です。目的に応じて複数の情報を整理しながら適切な情報を得たり、登場人物の言動の意味などについて考えたりして、内容を解釈することが大切です。

問三は、登場人物の行動の原因を読み取り、書き下し文から指定された字数で抜き出す問題です。文章の種類を踏まえて、論理や物語の展開の仕方などを捉えることが大切です。

問四は、書き下し文を手掛かりに、返り点を付ける問題です。漢文の訓読の仕方を知り、実際に声に出して音読することが大切です。

問五は、本文についての会話文を手掛かりとして、空欄に当てはまる内容を考え、適切な語句や文で答える問題です。作者の主張を正確に読み取ることが大切です。

古典では、特有のリズムを味わうとともに、表現の工夫や効果などに注意し、登場人物や書き手の思いなどを想像しながら、文章に表れているものの見方や考え方を捉える学習が大切です。

四 作文の問題

「令和3年度『国語に関する世論調査』」における四つの質問についての結果を基に、言葉や言葉の使い方について自分の意見を述べるという場面を想定し、自分の考えを条件に従って具体的に述べる問題です。複数の情報から必要な情報をそれぞれ取り上げ、自分の考えと関連付けて、文章にまとめる力を総合的にみる問題です。得点率は67.8%でした。

日頃から、事実や事柄についての自分の考えを形成し、根拠を明確にしながら伝える学習や、資料を読んで理解したことや考えたことを知識や経験と結び付け、自分の考えを広げたり深めたりする学習を行うことが大切です。また、伝える相手や目的を意識して、自分の考えが効果的に伝わるように表現を工夫して書く学習も大切です。

〈まとめ〉

「知識及び技能」、「思考力、判断力、表現力等」について、バランス良く出題しました。

また、言語活動を通して思考し、判断したり、複数の資料から情報を関連付けて自分の考えを形成し、表現したりすることで、実社会に必要とされる思考力・判断力・表現力等をみることができるようになりました。

全体の得点率は前年度より9.1ポイント下がり、51.0%でした。

特に、文章の構造と内容を正確に把握した上で、的確な言葉で簡潔にまとめて表現することに課題がみられました。

日頃から、言葉に関心をもち、様々な情報から内容を正確に理解するとともに、言語活動を通して、自分の考えを形成し、根拠を明確にしながら考えを適切に表現する学習に取り組むことが大切です。

文章を読む際には、構成や展開、登場人物などの描写に注意して読むことが大切です。文章の中心的な部分と付加的な部分、事実や意見などを読み分けて、内容を的確に捉える必要があります。また、書いたり話したりする際には、自分の考えを効果的に伝えるために、どのような表現が適切であるかを常に考え、構成を工夫するよう意識することが大切です。

令和5年度福岡県立高等学校入学者選抜学力検査結果の概要について

数 学

基礎的・基本的な知識及び技能を確実に習得し、それらを活用して問題を解決する力を身に付けましょう。

問題内容・得点状況等

1 全領域の基礎的・基本的な知識及び技能に関する問題

大問2から6の出題内容を踏まえて広い範囲から出題した、基礎的・基本的な知識及び技能を問う問題です。得点率は72.7%でした。

(1)は、正の数と負の数の四則計算、(2)は、1次式の計算、(3)は、平方根をふくむ四則計算の問題です。式の計算の順序や符号に注意しながら正確に計算する学習が大切です。

(4)は、2次方程式を解く問題です。式を展開、移項して整理し、因数分解や2次方程式の解の公式を用いて解く学習が大切です。

(5)は、場合の数をもとにした、確率を求める問題です。樹形図や表などを使って、起こりうる場合を順序よく整理して、確率を求める学習が大切です。

(6)は、 y が x の1次関数であるとき、直線の傾きと x の増加量から y の増加量を求める問題です。変化の割合の意味を理解することが大切です。

(7)は、 y が x に反比例する関数のグラフをかく問題です。様々な関数のグラフの特徴を理解することが大切です。

(8)は、標本調査の結果から、集団の傾向を推定する問題です。標本調査の意味や方法について理解することが大切です。

(9)は、円の中にある図形の角の大きさを求める問題です。円周角の定理や、三角形の内角と外角の性質などの図形の性質を理解することが大切です。

2 「数と式」領域の1次方程式に関する問題

具体的な場面の数量を方程式を活用して考察する問題です。得点率は45.7%でした。

(1)は、割合の考え方を用いて、あめの定価を文字式で表す問題です。

(2)は、あめの個数と生徒の人数のどちらかを x として方程式をつくり、その結果をもとに、あめを条件に合わせて分けるとき、たりるかどうかを説明する問題です。

身の回りの様々な数量や数量の関係を文字式で表したり、説明したりする学習が大切です。

3 「データの活用」領域の箱ひげ図に関する問題

箱ひげ図から読み取れることをもとに、データの特徴や傾向を考察する問題です。得点率は56.0%でした。

(1)は、箱ひげ図からデータの範囲と四分位範囲を読み取る問題です。

(2)は、会話文の中にある主張の根拠となる代表値を選び、その数値を答える問題です。

(3) は、Aのデータの累積度数を求めるとともに、Cのデータの箱ひげ図をもとに適切なヒストグラムを選ぶ問題です。

代表値に関する用語の意味を理解した上で、代表値や箱ひげ図を用いてデータの特徴を読み取り、多様な視点からデータの傾向を考察する学習が大切です。

4 「関数」領域の1次関数および2乗に比例する関数に関する問題

具体的な場面について、1次関数および2乗に比例する関数を用いて考察し表現する問題です。得点率は41.6%でした。

(1) は、1次関数の直線の傾きがバスについての何を表しているかを選ぶ問題です。

(2) は、バスと自転車が、同じ地点を通過するときの時間の差を求める問題です。

(3) は、2つの数量の関係について、1次関数の式を用いて表し、2直線の交点のx座標を具体的な場面に合わせて考察し、説明を完成させる問題です。

具体的な場面の中にある2つ以上の数量の関係について、式や表、グラフを適切に用いて考察する学習が大切です。特に、様々な関数の式や表、グラフの特徴を理解した上で、それらを用いて問題解決の過程を筋道立てて表現する学習が大切です。

5 「図形」領域の平面図形に関する問題

平面図形について、論理的に考察し表現したり、図形を計量したりする問題です。得点率は35.3%でした。

(1) は、証明にあてはまる三角形の合同条件を答える問題です。

(2) は、条件を変えずに異なる位置に点をとった図において、証明の必要性について正しいことを述べているものを選ぶ問題です。

(3) は、三角形の相似を証明する問題です。

(4) は、相似比や特別な直角三角形の辺の比などを活用して、2つの四角形の面積の比を求める問題です。

図形の性質について、構想や見通しを立てた上で、三角形の合同条件や相似条件をもとに証明したり、証明したことを振り返って新たな性質を見いだしたりする学習が大切です。また、図形の中に既習の図形を見だし、基本的な図形の性質を用いて、図形の線分の長さや面積などを求める学習が大切です。

6 「図形」領域の空間図形に関する問題

空間図形について、論理的に考察し表現したり、図形を計量したりする問題です。得点率は26.2%でした。

(1) は、円すいの表面積を求める問題です。

(2) は、もとの円すいと底面が合同で、高さが同じ円柱に水を入れたときのようなすを正しく表しているものを選び、底から水面までの高さを求める問題です。

(3) は、空間図形の中にある平面において、相似な二等辺三角形や三平方の定理を利用して線分の長さを求める問題です。

空間図形においては、図形を直感的に捉えた上で、論理的に考察する学習が大切です。

特に、目的に応じて空間図形の一部を平面図形として捉えたり、空間図形を分割して既習の図形として捉えたりする学習が大切です。また、見取図や展開図から図形の性質を読み取って空間図形のもつ性質を考察し表現する学習が大切です。

〈まとめ〉

全領域において、数量や図形などに関する基礎的・基本的な知識及び技能や、思考力、判断力、表現力等を問う問題を出題しました。

全体の得点率は、前年度より4.5ポイント下がり、49.5%でした。

数量や図形などに関する基礎的・基本的な知識及び技能を確実に身に付け、それらを活用して論理的に考察し表現する学習に取り組むことが大切です。特に、数学的な見方や考え方を働かせて、言葉や数、式、図、表、グラフなどの数学的な表現を用いて、問題解決の過程を説明したり、条件を変えて多様な視点から事象を考察したりする学習に取り組むことが大切です。

令和5年度福岡県立高等学校入学者選抜学力検査結果の概要について

社 会

基礎的・基本的な知識や概念等の確実な定着と思考力・判断力・表現力を身に付ける学習を中心に取り組みましょう。

問題内容・得点状況等

1 古代から近代までの日本の歴史に関する問題

略年表とわが国の政治と経済について作成したカードをもとに、古代から近代までの歴史の大きな流れや各時代の特色について問う問題です。得点率は54.4%でした。

問1は、時代の特色から、該当する時代を選ぶ問題です。

問2は、古代と近代の地方支配のしくみについて、適切な語句を選ぶ問題です。

問3は、文化の特色から、該当する時代を選ぶ問題です。

問4は、中世の社会の様子について、資料をもとに、適切な語句を選ぶ問題と、指定された語句を使い、説明する問題です。

問5は、近世の外交について、年代順に並べる問題です。

問6は、工場制手工業の特徴について、指定された語句を使い、説明する問題です。

歴史上のできごとや人物等について調べたり考えたりする際に、年表・地図・統計・図表等の様々な資料を活用しながら、わが国の時代ごとの政治、経済、社会の様子、文化等の大きな流れや各時代の特色を捉える学習を進めることが大切です。

2 近現代の日本や世界の歴史に関する問題

わが国の世界遺産について作成したカードをもとに、近代以降の産業や経済、国際平和について問う問題です。得点率は73.6%でした。

問1は、富岡製糸場について、適切な語句を選び、説明文を完成させる問題です。

問2は、第一次世界大戦前後のわが国の産業の発展や景気変動について、資料から読み取れることをもとに、適切な語句を選び、説明文を完成させる問題です。

問3は、わが国の戦後の主なエネルギー資源の転換について、資料から読み取れることをもとに、指定された語句を使い、説明する問題です。

問4は、国際平和に関するできごとと、関係の深い内容を一致させる問題です。

近現代の歴史の学習を進める際は、わが国のできごとを世界の動きとともに捉えることや、様々な資料を活用しながら現在とのつながりからできごとを捉えることが大切です。また、時期に着目しながら、政治の展開、産業の発達、社会の様子や文化の特色等について、学習した内容を比較したり関連付けたりし考察することが大切です。

3 世界の地理に関する問題

地図や資料から、世界の各州の地域的特色について問う問題です。得点率は57.4%でした。

問1は、雨温図を読み取り、指定された都市の雨温図を選ぶ問題です。

問2は、略地図で指定された国々に共通して公用語となっている言語名を答える問題です。

問3は、各国のエネルギー消費等に関する資料から読み取れることをもとに、条件にあった国を選ぶ問題です。

問4は、おもな農産物の州別生産量に関する資料から読み取れることをもとに、指定された農産物を選ぶ問題です。

問5は、産業や貿易に関する資料から適切に情報を読み取り、指定された条件で、説明文を完成させる問題です。

日頃から自然環境や人々の生活、経済、文化等について、世界各州の違いに関心をもつことが大切です。世界地図や各種の統計資料を読み取り、比較したり関連付けたりし、違いの要因を様々な面から考えることで、地域的特色を捉える学習を進めることが大切です。

4 日本の地理に関する問題

略地図や資料から、日本の諸地域の地域的特色について問う問題です。得点率は48.8%でした。

問1は、略地図で指定された経緯線の、適切な緯度・経度の組み合わせを選ぶ問題です。

問2は、指定された道府県に関する観光等の資料から読み取れることをもとに、該当する地方を選ぶ問題です。

問3は、中国・四国地方の交通の特色等に関する資料から適切に情報を読み取り、通勤・通学者数の変化の理由を説明する問題です。

問4は、中部地方の気候と農業の特色に関する資料から適切に情報を読み取り、指定された地点の月別平均気温を示すものを選ぶ問題と、中部地方の農業の特色について、指定された条件で、説明文を完成させる問題です。

日頃から各地域における自然環境と人々の生活のつながりについて理解を深めるとともに、地図や各種の統計資料に親しみ、それらに示された情報と既得の知識を結び付け、地域的特色を捉える学習を進めることが大切です。

5 現代の政治、経済、社会に関する問題

公民的分野で学んだことについて作成した発表原稿をもとに、政治、経済のしくみや国際関係、現代社会の諸課題等の基礎的・基本的な知識や概念について問う問題です。得点率は49.1%でした。

問1は、地球温暖化問題について、指定された条件で説明文を完成させる問題です。

問2は、日本国憲法について、適切な語句を選び、説明文を完成させる問題です。

問3は、国会における予算案の審議について、会話文と資料から読み取れることをもとに、適切な語句や内容を答える問題です。

問4は、裁判所について、会話文と資料から読み取れることをもとに、裁判のしくみに関する適切な語句を選ぶ問題と、裁判員の役割を説明する問題です。

問5は、日本銀行のはたらきについて、資料から読み取れることをもとに、適切な語句を答える問題です。

問6は、わが国の歳入と歳出、社会保障制度について、資料から読み取れることをもとに、適切な語句を選び表や説明文を完成させる問題と、国債が発行される目的について説明する問題です。

日頃から新聞やテレビ、インターネット等の情報を積極的に収集することで、現代社会の変化を読み取り、関心をもって諸課題が起こっている原因や影響を追究し、自分の考えを説明したり、他者と議論したりする活動を通して考えを深め、制度やしくみの意義とはたらきを捉える学習を進めることが大切です。

6 現代社会の課題に関する問題

会話文と資料をもとに、地域の活性化に向けた方策について問う問題です。得点率は57.0%でした。

問1は、三大都市圏について、適切な語句を答える問題です。

問2は、地域の年齢別人口割合の特徴について、資料から読み取れることをもとに、適切な語句を答える問題です。

問3は、例示された地域の活性化に向けた取り組みの効果について、資料から読み取った情報を関連付け、説明する問題です。

日頃から広い視野で社会に関心をもち、地理的分野及び歴史的分野、公民的分野で学んだことを総合的に活用し、現代社会が抱える諸課題について、様々な資料を多面的・多角的に考察し、表現する学習を進めることが大切です。

〈まとめ〉

各分野にわたり、年表・地図・統計・図表等様々な資料を提示し、基礎的・基本的な知識や概念、資料を活用する技能、これらの知識、技能を用いて思考・判断・表現する力を問う問題を出題しました。

全体の得点率は前年度より0.3ポイント上がり、55.5%でした。

基礎的・基本的な知識・技能を確実に定着させるとともに、日頃から様々な資料が示す意味（分布、推移、割合等）を読み取ること、複数の資料から読み取れることを関連付けて考察すること、考察したことを相手に分かりやすく適切に表現することを意識して、日々の学習に取り組むことが大切です。

令和5年度福岡県立高等学校入学者選抜学力検査結果の概要について

理 科

見通しをもって観察、実験などを行い、その結果を整理し、分析して解釈するなど、科学的に探究する過程を通して、基礎的・基本的な知識・技能と科学的な思考力や表現力を身に付けましょう。

問題内容・得点状況等

1 生物領域に関する問題

植物の吸水と蒸散に関する問題です。得点率は74.3%でした。

問1は、双子葉類を選ぶ問題です。

問2は、植物の体の中の水が水蒸気として出ていく現象を問う問題です。

問3は、蒸散による吸水量の違いがわかる装置の組合せと、葉の表側と裏側で蒸散する量が多い方を選ぶ問題です。

問4は、根毛があることで水などを効率よく吸収することができる理由を問う問題です。植物の葉の吸水量を調べる実験を行い、蒸散が行われると吸水が起こることを、葉のつくりと関連付けて理解する学習が大切です。

2 生物領域に関する問題

有性生殖と無性生殖に関する問題です。得点率は59.3%でした。

問1は、有性生殖を行う特別な細胞の名称を問う問題です。

問2は、受精卵から新しい個体としての体のつくりが完成する過程の名称を問う問題です。

問3は、有性生殖における卵、精子、受精卵の中にある染色体のモデルとして、正しい組合せを選ぶ問題です。

問4は、無性生殖における染色体の受け継がれ方と形質の現れ方の特徴を問う問題です。生物の殖え方の観察を行い、有性生殖と無性生殖で親の形質が子に伝わるときの、染色体の受け継がれ方と形質の現れ方を関連付けて理解する学習が大切です。

3 化学領域に関する問題

金属の密度に関する問題です。得点率は75.0%でした。

問1は、メスシリンダーに入っている水の体積について、正しく表した図を選ぶ問題です。

問2は、実験結果の質量と体積から金属の密度を求める問題です。

問3は、実験結果から同じ物質であると考えられる理由を問う問題です。

問4は、水銀に鉄を入れたときの浮き沈みと、その理由についての説明を完成させる問題です。

物質の密度を測定する実験を行い、求めた密度から物質を区別する学習が大切です。また、密度の違いと物体の浮き沈みを関連付けて理解することが大切です。

4 化学領域に関する問題

金属のイオンへのなりやすさに関する問題です。得点率は69.7%でした。

問1は、マイクロプレートを用いた実験についての説明を完成させる問題です。

問2は、金属板の表面に付着した物質を化学式で表す問題です。

問3は、マグネシウム原子がイオンになる化学変化を、化学反応式で表す問題です。

問4は、実験に用いた金属について、イオンになりやすい順を問う問題です。

イオンへのなりやすさを比較する実験を行い、金属が水溶液に溶けたり水溶液中の金属イオンが金属として出てきたりすることを、イオンのモデルと関連付けて理解する学習が大切です。

5 地学領域に関する問題

火山岩と深成岩のつくりの違いに関する問題です。得点率は、57.1%でした。

問1は、深成岩のつくりを問う問題です。

問2(1)は、火成岩ができる場所と冷え固まるまでの時間を問う問題です。(2)は、鉱物の色と形から、鉱物の名称の正しい組合せを選ぶ問題です。(3)は鉱物の割合による火成岩の色の違いを問う問題です。

火山岩と深成岩の観察を行い、それらの組織の違いをマグマの冷え方と関連付けて理解する学習が大切です。また、火成岩の色の違いと造岩鉱物の種類や含まれている割合の違いを関連付けて理解することが大切です。

6 地学領域に関する問題

日本の天気の特徴に関する問題です。得点率は、51.9%でした。

問1は、気象観測の結果を天気図記号で表す問題です。

問2は、低気圧の中心からできる温暖前線と寒冷前線について正しく示した図を選ぶ問題です。

問3は、オホーツク海気団と小笠原気団の特徴を問う問題です。

問4は、停滞前線についての説明を完成させる問題です。

天気図などを資料として、日本の天気の特徴を気団の性質や気団が発達したり衰退したりすることと関連付けて理解する学習が大切です。

7 物理領域に関する問題

電熱線の発熱に関する問題です。得点率は、59.7%でした。

問1は、発泡ポリスチレンのカップが適している理由を問う問題です。

問2は、電気用図記号を使って装置の回路を回路図で表す問題です。

問3は、電流を流した時間と水の上昇温度の値をグラフに表現する問題です。

問4は、電気抵抗の大きさと発熱量の大きさの関係を、表やグラフから読み取る問題です。

電熱線に電流を流し発生する熱量を調べる実験を行い、水の温度上昇は時間に関係することを見いだすとともに、電力の違いによって発生する熱量の違いがあることを理解する

学習が大切です。

8 物理領域に関する問題

斜面を下る物体の運動に関する問題です。得点率は、57.6%でした。

問1は、実験結果から台車の平均の速さを求める問題です。

問2(1)は、表から速さの増え方の特徴を読み取る問題です。(2)は、仮説を検証する実験で、予想される結果を問う問題です。

問3は、斜面の角度を小さくしたときの台車が斜面を下るのにかかる時間と下り終えたときの台車の速さの変化を問う問題です。

斜面上の台車の運動と台車に働く力の大きさを調べる実験を行い、結果や表をグラフに整理して、時間と速さや移動距離を関連付けて考察する学習が大切です。

〈まとめ〉

授業で行う観察、実験を中心に、各分野から出題しました。その際、自然科学の概念と科学の方法を用いて課題を解決する力をみるように配慮しました。また、観察、実験の結果や資料から図や表、グラフを用いて考察する問題を出題しました。

全体の得点率は前年より1.1ポイント上がり、63.0%でした。

理科の授業において、自然の事物・現象から問題を見だし、見通しをもって観察、実験に主体的に取り組み、結果を整理し、図や表、グラフなどにまとめて考察したり、日常生活や社会と関係付けて説明したりする学習に取り組むことが大切です。

令和5年度福岡県立高等学校入学者選抜学力検査結果の概要について

英 語

「聞くこと」、「読むこと」、「話すこと〔発表〕」、「話すこと〔やり取り〕」、「書くこと」の4技能（5領域）を高め、思考力・判断力・表現力等を身に付ける学習を繰り返し行いましょう。

問題内容・得点状況等

【英語リスニングテスト】

英語の質問に英語で適切に答えたり、まとまりのある英文の要点を聞き取ったりする問題です。得点率は51.6%でした。

問題1は、文字を介さずに短い質問を聞き取り、適切な応答を選ぶ問題です。

問題2は、表や図を見ながら、情報を正確に聞き取り、質問に答える問題です。

問題3は、2人の対話の要点を正確に聞き取り、質問に対する答えを選ぶ問題です。

問題4<問1>は、留学先での自然宿泊体験活動についての説明を聞き、概要や要点を捉え、質問に答える問題です。<問2>は、関連する質問を聞き、自分の考えを表現する問題です。

質問を素早く正確に聞き取り、即座に答えたり、まとまりのある英文を聞きながらメモをとり、メモをもとに質問に答えたり、自分の考えを表現したりするなどの学習を行うことが大切です。

【英語筆記テスト】

1 「話すこと」に関する問題

英語による対話文を読んで、コミュニケーションを行う目的や場面、状況等に応じて表現する力を問う問題です。得点率は80.2%でした。

英文の意味と構造を理解する学習を行うだけでなく、コミュニケーションを行う目的や場面、状況などを想定して英語でやり取りする学習を行うことが大切です。

2 「話すこと」「読むこと」「書くこと」に関する問題

英語による会話と手紙を読んで、概要や要点を捉える力を問う問題です。多文化共生をテーマとしたもので、外国人の方々とコミュニケーションをとるために、地域行事に招待するという会話の流れとその後にした手紙の内容を読み取ります。得点率は50.6%でした。

問1は、会話の内容を正確に理解し、語と語のつながりに注意して、正しい文を完成させる問題です。

問2は、会話の内容を理解し、適切な表現を選ぶ問題です。

問3は、会話の概要を把握し、後に続く手紙の文脈から適切な表現を選ぶ問題です。

問4は、会話と手紙の概要を把握し、質問に答える問題です。

日頃から、まとまりのある英文を聞いたり読んだりして概要や要点を捉え、それをもとに話したり書いたりする学習を行うことが大切です。

3 「読むこと」「書くこと」に関する問題

まとまりのある英文を読んで、概要や要点を捉える力や、読み取った内容について自分の考えを表現する力を問う問題です。進路選択にあたり、自らのボランティア体験を参考に将来の目標を考えるとという英文の内容を読み取ります。得点率は50.0%でした。

問1は、英語による質問の答えとして適切な情報を読み取り、英文で答える問題です。

問2は、英文の流れを考えて下線部の語の意味を推測し、同じ意味を表す語を選ぶ問題です。

問3は、下線部の語が示す具体的な内容を読み取り、日本語で説明する問題です。

問4は、英文の概要や要点を正確に捉え、内容に合う文を選ぶ問題です。

問5は、英文に関連する質問について、自分の考えを表現する問題です。

日頃からまとまりのある英文を読んで、書き手が伝えようとすることや自分に必要な情報などを整理したりメモにまとめたりする学習が重要です。また、そのメモをもとに自分が持っている知識やこれまでの経験と結び付けて、自分の考えや気持ちなどを英語で表現する学習を行うことが大切です。

4 「書くこと」に関する問題

コミュニケーションを行う目的や場面、状況等に応じて、自分の考えが相手に正しく伝わるように、全体として一貫性のある英文を書く力を問う問題です。

今年の夏に訪れる予定である海外ホームステイ先の家族とやり取りをするという場面設定で、三つの中から行きたい場所を一つ選び、選んだ理由とともに30語以上の英語で書く問題です。得点率は59.9%でした。

日常的又は社会的な話題について自分が考えたことや感じたことを伝えるために、文と文のつながりや順序、文章の構成を意識しながら、全体として一貫性のある英文を書く学習を行うことが必要です。また、自分の考えが読み手に正しく伝わるように、理由を明確に述べたり、具体的な説明を加えたりして書く学習が大切です。

〈まとめ〉

中学生にとって身近な場面を取り上げ、基礎的・基本的な知識を活用して、英語を理解したり表現したりする問題を出題しました。全体の得点率は前年度より0.2ポイント下がり、56.0%でした。

英語でのコミュニケーション能力の一層の向上が求められる中で、「聞くこと」、「読むこと」、「話すこと〔発表〕」、「話すこと〔やり取り〕」、「書くこと」の4技能（5領域）をバランスよく高めることが重要です。そのためには、語彙や表現を充実させるとともに、素早く正確に聞き取り、即座に応答する学習を行うなど、目的や場面、状況等に応じたコミュニケーションを行う学習に繰り返し取り組むことが大切です。

なお、令和5年度入学者選抜学力検査から、リスニングテストの問題1については1回のみ放送としています。